

令和2年度 第3回 安曇野暮らし支援協議会 会議概要

1	審議会名	令和2年度 第3回 安曇野暮らし支援協議会
2	日 時	令和2年12月4日 午後2時00分から午後3時30分まで
3	会 場	安曇野市役所3階 共用会議室305
4	出席者	望月委員(会長)、中澤委員(副会長)、高井委員、宮崎委員、横田委員、五味委員、萩原委員
5	市側出席者	赤沼政策経営課長補佐、藤原企画担当主査、小倉企画担当主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和2年12月4日

協 議 事 項 等

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 第1回 安曇野オンライン移住相談会の実施報告について
- 4 協議事項
 - (1) 第2回 安曇野オンライン移住相談会の開催について
 - (2) 第3回 安曇野オンライン移住相談会の開催について
 - (3) おためし住宅管理業務委託について
 - (4) おためし住宅利用者に提供する新メニューについて
 - (5) その他
- 5 閉会

会議概要

- 1 報告事項
 - (1) 第1回 安曇野オンライン移住相談会の実施報告について

【事務局から、オンライン移住相談会の実施内容について報告】

 - ・参加者が複数いる状況の中で、参加者もプライベートなことを質問することが難しかったのではないかと。
 - ・個別相談がスムーズに進んでいなかったように思う。
 - ・セミナーなのか個別相談なのか、はっきり分けたほうがよいと思う。セミナーならセミナーを、個別相談なら個別相談をしっかりとやるという形がよいのではないかと。
 - ・参加申込期間について、次回以降はもっと長くともってほしい。
- 2 協議事項
 - (1) 第2回安曇野オンライン移住相談会の開催について

【事務局から第2回のオンライン移住相談会について説明】

 - ・第2回の相談会は前回参加できなかった方が対象ということだが、事前の質問内容は分かっているのか。質問内容に合わせて参加スタッフを選んでいるのか。

⇒質問内容は既に分かっているので、質問内容に合わせて参加スタッフを選定させていた

だいた。

・個別の移住相談会になるのか。共通の参加時間は設けないのか。
⇒完全に個別の移住相談会としたい。参加者全員の共通の参加時間は設けない予定。

・参加者の現状はどうなっているのか。
⇒前回参加できなかった4組の方に現在開催案内文を送ったところであるが、まだ参加申込の連絡はない状況である。参加者が固まり次第、質問内容を参加スタッフに送付する予定である。

・他市の事例ではあるが、個別相談については相談者間に必ず15分か20分くらいインターバルをとって、相談時間が多少延びても対応できるような形にして実施している。参考にしたらどうか。
⇒参考にしてみたいと思う。

・前回の開催は水曜日だったが、今回は月曜日とした理由は何か。
⇒機器の予約状況等を考慮した結果、月曜日の開催となった。

・申し込んだ方の立場になれば、前回と同じ水曜日の同じ時間に開催としたほうが親切ではないか。それか、事前に参加者に希望を聴くなどの対応が必要ではないか。

【参加申込があった場合には、事務局は参加スタッフに質問内容を事前送付し、予定通り令和2年12月21日（月）13時30分から開催することに決定。】

（2）第3回安曇野オンライン移住相談会の開催について

【事務局から、第3回のオンライン移住相談会について説明】

・令和3年1月7日（木）の開催ということは承知したが、不動産についてプレゼンをする時間を設けるのならば、この相談会は不動産等の相談に絞ったほうがよいのではないか。

また、今日の12月4日に安曇野暮らし支援協議会が開催されることは事前に分かっていたことなので、参加者の募集開始や内容については、この協議会で協議をしてから進めてほしかった。

⇒今回は、前回の当協議会でいただいた意見を踏まえ、募集期間を長く取るということを考えていたので、このような形になった。次回以降は、この協議会で内容等を固めた上で進めていきたいと思う。

・募集は4組ということだが、30組くらい募集をしてセミナーのような形式にしたらどうか。

不動産、住宅に特化したセミナーとして、このことに係るプレゼンを2つ（30分+30分）行い、そのあとに質疑応答の時間を30分とするという形でどうか。

⇒そのような方向で開催できるように準備を進めていきたいと思う。

・オンラインに使用する機器である「Webex」について、令和3年1月7日以降の空き状況はどのようになっているのか。

⇒1月8、9、10、11、12、16、17、19、20、22、23、24、29、30、31日が空いている。

- ・そういうことであれば、その機器が空いているいずれかの日で、オンライン個別相談会を実施したらどうか。1月7日はセミナー形式、1月17日は個別相談会でよいのではないか。

【第3回安曇野オンライン移住相談会は、不動産、住宅に特化し、相談会ではなくセミナー形式として30組募集をかけて令和3年1月7日（木）19時から実施することとなった（参加スタッフは望月会長、宮崎委員及び高井委員）。構成はプレゼン2つ（30分+30分）と質疑応答（30分）とする】

【上記のほか、令和3年1月17日（日）の午後に不動産、住宅に特化した個別のオンライン移住相談会を計画していくこととなった（参加スタッフは望月会長、宮崎委員及び高井委員。また、機材はミーティングボード1台とiPad1台の計2台を使用する）。】

（3）おためし住宅管理委託業務について

【事務局から、委託業務について説明】

- ・どういった形で受託する業者を決めていくのか。
⇒これから検討していくが、各種法令等を踏まえ、適正な手続を経て決定していきたい。
- ・新しいメニューについては、どういった形になっているのか。
⇒メニューについては、次の協議事項になる。ここでは、あくまでもおためし住宅の入退室対応の委託についてのみお話させていただいている。
- ・入退室対応の委託については理解したが、次の協議事項にある「おためし住宅利用者に提供する新メニュー」とは別物なので一緒にしないでもらいたい。入退室対応と新メニューについてはそれぞれ分けて考えてもらいたい。

【令和3年度からの入退室対応の委託については、事務局で準備を進めていくこととなった。】

（4）おためし住宅利用者に提供する新メニューについて

【事務局から、新メニューについて説明】

- ・利用料金について、各団体に決めるのではなく、市のほうである程度示してもらいたい。
- ・メニュー表が実施団体別になっているが、団体別で考えるのではなく、内容別に考えたほうがよいのではないか。
- ・おためし住宅利用者の相談内容を市が確認し、相談内容に合わせて各団体に連絡をする形がよいのではないか。
- ・メニュー表は、「生活全般」、「不動産・住宅」、「しごと」の3つくらいに大きく分類して作成したらどうか。
- ・相談場所の確保について考えてもらいたい。事務所をもっている団体もあれば、ない団体もある。
- ・おためし住宅を利用して、住宅内で相談対応ができればよいのではないか。

- ・相談対応の流れを明確にするためにも、フロー図を作成したほうがよい。
- ・利用料金については、相談対応をする団体がおためし住宅利用者からいただくのではなく、市が相談対応をする団体に委託料のような形で支払うという認識だったが、そのあたりはどうか。
各団体が利用者から直接料金をいただくということだとすると、そういう認識ではなかったもので、改めて検討、協議していく必要がある。
- ・利用料金については、しっかりとした議論を重ねてきたわけではないので、今後、議論をしていく必要がある。
- ・メニューの選択は、おためし住宅利用の必須要件とするべきではないか。
⇒有料とした場合、必須とすることは適切ではない。必須ではなく、任意であるならば問題はないものと考えている。
- ・メニュー表の見せ方が大事。せっかく官民が一緒になって安曇野暮らし支援協議会をやっているのだから、「おためし住宅利用者の相談には、安曇野暮らし支援協議会で専門知識をもった者が対応しますよ」といった見せ方をするほうが利用者も安心すると思う。

【メニューの提供については、フロー図やメニュー表を事務局で作成し、事前に各委員に資料を送付した上で、協議会の中で改めて協議していくこととなった。また、利用料金の在り方についても、今後の協議会の中で議論していくこととなった。】

(5) その他

【事務局から、松本地域振興局が作成した移住パンフレットについて説明】

<終了 15:30>

以上